

2025 年 8 月 11 日

内視鏡的逆行性胆道膵管造影（ERCP）を受けられた患者さんへ

「X 線透視診断装置のスクリーンショット機能を用いた被曝量低減のための研究」への協力をお願い

消化器内科では、下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2023 年 10 月 1 日～2024 年 3 月 31 日の間に、内視鏡的逆行性胆道膵管造影（ERCP）を受けられた方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2030 年 12 月 31 日

研究目的・利用方法：透視スクリーンショット機能を用いて内視鏡治療が施行でき、かつ被曝量低減を図ることができるのか検討を行うことを目的としています。

研究に用いる試料・情報の項目：

以下の項目について、診療録から取得します。

患者背景；年齢、性別、体厚、皮下脂肪厚、治療目的、最大および最小結石径、検査の成否、合併症の有無

内視鏡治療情報；使用した処置具、行った処置、検査時間

被曝情報；撮影情報（撮影枚数、基準空気カーマ、面積線量、曝射時間）、透視情報（基準空気カーマ、面積線量、透視時間）

研究に用いる試料・情報の利用を開始する予定日：2025 年 8 月 1 日

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、西濃厚生病院倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び西濃厚生病院に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究代表者
西濃厚生病院 内科
氏名：伊藤有紀

研究責任者
岐阜・西濃医療センター 西濃厚生病院
氏名：足立政治

連絡先
岐阜・西濃医療センター 西濃厚生病院
電話番号：0585-36-1100 （代表）
氏名：足立政治
E-mail：sadachi-gif@umin.ac.jp

【苦情窓口】
岐阜・西濃医療センター 西濃厚生病院
〒501-0532
岐阜県揖斐郡大野町下磯 293 - 1
Tel：0585-36-1100 （代表）
E-mail：sadachi-gif@umin.ac.jp